



Try! up!

Vol. 30 [2018年2月20日発行]

平成30年度 入学ガイダンスが始まりました

平成30年に入り、本校での学生募集は、第5次出願期間に入っています。すでに平成30年度の入学が決定している方への入学ガイダンスが始まり、去る1月16日に行われた1回目の入学ガイダンスには、入学予定者約70名の出席がありました。

当日は天候にも恵まれ、登校した皆さんは穏やかな表情で臨まれました。まずはじめは、大場副校長から「本校で学ぶ意義と心構え」として、これから勉学と仕事と家庭を両立しながら生活するにあたって、スケジュール管理の重要性と職場・家庭との連携、学校との連絡の必要性が話されました。

次に、放送大学での科目履修について放送大学職員による説明がありました。本校入学以前から放送大学での科目履修を始めている方が多く、単位認定申請を行うグループと、これから入学手続きを行うグループに分かれ行われました。

以降は教員による説明が続きます。学則と科目履修の方法、通信授業、臨地実習、看護師国家試験対策、健康診断に関する内容と、4月・5月の面接授業と学習の進め方までが説明されました。6時間にわたるガイダンスでしたが、出席された皆さんは疲れた表情もなく、終始、真剣に耳を傾け、不明な点を質問するなど、学習への意欲的な姿勢が感じられました。当日は、学習をサポートするワークブックの販売も行われ、多くの方が購入していました。

これから入学される皆さん、初心を忘れず、仲間と励まし合いながら目標を成し遂げてほしいと願っています。4月の面接授業で会えることを、職員一同楽しみに待っております。



～平成29年度にご卒業される皆さまへ～

平成29年度卒業記念講演のお知らせ

ご卒業おめでとうございます

卒業式の前日となる3月14日、平成29年度の卒業生の方を対象に記念講演を開催いたします。この講演会は、これから看護師として就業する卒業生の皆さんに、看護の専門職業人として主体性と自律性を発揮しながら社会に貢献してほしいこと、看護行政の動向と課題を知り自分が果たすべき役割を考えてほしいことがねらいになります。

講演の講師には、お二人の先生をお迎えします。最初に、東北福祉大学せんだんホスピタルの名誉院長である浅野弘毅先生にご講演いただきます。医療に長年携わることから、看護師の皆さんの心が豊かになるお話をいただければと思います。次に、昨年に続いて、公益社団法人宮城県看護協会の会長である佃祥子先生にご講演いただきます。看護行政の動向とこれからの看護のあり方についてのビジョンをお話いただきます。これからの自分の看護や役割を考える機会となることでしょう。

ともに、本校を巣立ち、活躍が期待される卒業生の皆さんに是非聞いていただきたい内容です。この講演会が看護師としてスタートされる皆さんの礎となることを願っています。

卒業記念講演

日時

平成30年3月14日(水)
13:00～16:15(受付12:30～)

会場

東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

記念講演タイムスケジュール

13:00…開会

大場副校長より「はなむけの言葉」

～記念講演～

13:30…「メンタルヘルスのすすめ」

東北福祉大学 せんだんホスピタル 名誉院長
浅野 弘毅 先生

15:10…「看護をつなぐ」

公益社団法人 宮城県看護協会 会長
佃 祥子 先生

本校は通信制のため、2年間での登校日が約60日間となっており、自宅での学習が全体の8割を占めます。卒業修得単位は全日制2年課程の看護学校と同じ65単位です。学生1人でレポートに取り組むことが多いため、困ったときに即相談できる体制を考えています。

具体的には、担任を中心とした学習支援や、本校・遠隔地での学習相談会開催、紙上事例演習学習会開催、定期配信メールでの情報発信です。

まず、担任を中心とした学習支援では、地区別に担任制とし、学生1人ひとりが卒業、そして、看護師国家試験に合格できるよう、必要時に面談をしたりメールや電話で学習支援を行ったりしています。

次に、学習相談会では、本校で開催する以外に青森市、八戸市、盛岡市、秋田市、福島市、酒田市、東京都で開催し、担任がそれぞれの場所に出向き、学習進度に合わせた学習の助言を行ったり、学習の進め方・取り組み方について一緒に考えたりしています。また、学生が複数名参加の場合、困っていることについて情報交換し、問題解決のヒント

をお互いに考えたり、学年の違う先輩からは、経験を生かした具体的な助言を受けたりすることもあります。

紙上事例演習学習会は、それぞれの領域について、提出期間の2～4週間前に学校で開催しています。領域の教員が担当し、紙上事例演習の展開に必要な「疾患に関する基礎的知識」や「看護のポイント」についての講義を行ったり、紙上事例演習で取り組む事例を具体的にイメージできるよう様々な工夫をしたりしています。

最後に、定期配信メールでは、各学年に月1回メールの送信を行います。提出締め切り日、登校日時と場所・持参物、学習相談会開催日時など、通信制で学ぶ上で大切な連絡を配信しています。この定期配信メールを学習計画の確認に役立て、提出期限失念などケアレスミスを起こさないようにサポートしています。

これらの学習支援を活用し、「看護師」という目標を達成して欲しいと願っています。



学生通信

看護師への道は自分との戦い

1年生 今野 真弓 さん (宮城県・40代・病院勤務)



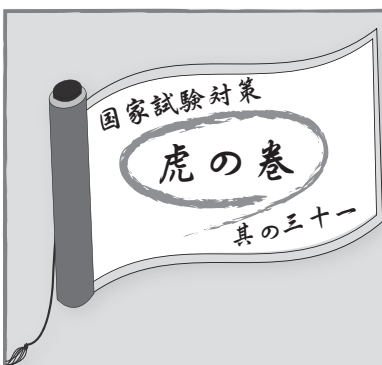
20代の頃は、看護ではない別の分野で朝から晩まで働き詰めだった私。しかし、「手に職を、一生ものの仕事を」と考え、30代になってすぐに、以前から憧れていた看護の道に進むことにしました。そしてこの時すでに、准看護師として10年経験を積むことができたなら、次は看護師を目指そうと決めていたのです。沿岸部で震災に遭い数年遅れてしまいましたが、子どもも無事成人した安心感もあり、昨年春に本校に入学しました。

念願の看護師を目指して学習を始めてみたところ、これが予想していたよりも大変なものでした。仕事や家事をこなしながらの学習は、意を決して机に向かうだけでも一苦労…毎日3時間ずつの学習が理想ですが、実際やってみるとなかなかコンスタントにはいきませんでした。そのぶん、

「やる!」とエンジンがかかった時には最大限に集中するように。ひとたび始めたからには可能な限り学習を進め、遅れをとらないようにしています。通信制の本校での学習は、とにかく自分との戦いです。自分で動かなければ決して前には進めません。それが辛いと感じた時に頭に浮かぶのは、7年前の震災のこと。「やりたくてもできなかった人が大勢いるのに、命ある自分がかんばらなくてどうする!」と気合を入れ直します。自ら始めたからには、看護師免許を手にするまで何が何でも諦めません。

こうして学び続けた約1年間。新たな学びを重ねたことで、改めて看護職として大切な「患者さんのために何をすべきか」という原点に立ち返ることができたように思います。さらに、これまでは持ち合わせていなかった広い視野や深い考え方が加わってきていることを、仕事の中のさまざまなシーンで実感し始めています。

看護の道はとても険しく、大変な道を進んでしまったと思うこともしばしばありますが、それ以上に大きなやりがいを感じています。看護師になったその先の自分も見据えながら、歩み続けていきたいと思っています。



国家試験対策を計画的に

国家試験対策担当
倉林 恵子 先生

去る2月18日に新出題基準(平成30年版)による第107回看護師国家試験が行われました。受験した皆さんは3月26日の合格発表を待っています。次は1年生が、来年のこの時期に第108回看護師国家試験を受験します。国家試験合格は皆さんの目標です。看護師としてキャリアアップを目指していくために必ず合格するという決意で学習しましょう。

先日、1年生に東京アカデミーの専門基礎科目第2回実力確認テスト(在宅受験)を配布しました。計画的に実施日を決めて受験しましょう。2年生になると、国家試験対策が本格的に開始します。先日配布した平成30年度の年間国家試験対策スケジュール全てに出席できるように、勤務等の調整をしてください。職場や家庭の状況が1人ひとり違いますので、自分の置かれている状況のなかで、きちんと学習を積み上げていけるように学習環境を整えることが大事になります。

本校では、国家試験対策として、対策講座と模擬試験を組んでいます。平成30年度国家試験対策講座の初回は、4月21日(土)から3日間です。最初に国家試験と対策の概要について理解してから、専門基礎科目の学習に進みます。皆さん、入学して1年間の学習の中で、『人体の構造と機能』や『疾病の成り立ちと回復の促進』などの知識が土台となることを実感したと思いますが、それらは看護の必要性を判断して実践する根拠になります。しかし、この分野は国家試験での得点率が低く皆さんが苦手とする分野です。そこで、なるべく早い時期に学習を開始して着実に積み上げていくことができるプログラムになっています。

対策講座を受講して知識を確実にしながら模擬試験を受験し、自分の実力を確認して学習を進めていきます。そして、「合格圏」に入り安心して本番の国家試験を受験できるように目指しましょう。皆さんが合格するように学校が支援します。

土台



『人体の構造と機能』
『疾病の成り立ちと回復の促進』

2年間の学びの中でも重要な位置を占める「病院等見学実習」。限られた時間の中で、どれだけ多くのことを吸収できるか、そして日々の学習にどう結びつけていくかが問われる教育内容である。ここでは、学生に充実した学びを与えてくださった「宮城県立精神医療センター」の実習受け入れに対する体制や考え方を紹介したい。

宮城県立精神医療センターでは、精神科医療の課題でもある「社会的入院」の解消を目指し、『入院医療中心から地域生活中心へ』という医療の転換に積極的に取り組み、さらに地域では対応が困難な治療抵抗性のある患者や慢性重症患者への医療を提供している。本校を含め年間8校の実習生を受け入れている当センターの実習に対する考え方、学生に何を学んでほしいと期待しているのかお話を伺った。

多くの実習生を受け入れるには、その指導にあたるスタッフの育成も欠かせない。齋藤弘子看護部長は、「当センターで実習指導者になるには、まず院内外で開催される実習指導者の講習会に必ず参加することとしています。そこで精神科実習の意義や指導者の役割、学生の特性に合わせた効果的な関わり方など、実習指導に関する基礎を1年間通して学びます。そしてその翌年、経験豊富な指導者に付き、実際の指導場面を見ながら自身の指導スキルを高め、その後ようやく実習指導者になれるのです」と語る。こうした過程を経て指導者となり、その指導ノウハウを次世代へ受け継ぐ体制があるからこそ、質の高い実習を提供できるのだと確信する。

精神科の病気は、誰にでも起こりうる病気ですが、特別な病気というイメージを持っている学生が多くいます。実習では、まず患者自身のことを知り、理解してほしいと思っています。表面的に見えている病状だけがその人のすべてではありません。患者に寄り添うことで見えてくる健康的な部分を伸ばし、その可能性を諦めずに信じ続けることが精神科看護においてはとても重要です」という教育担当の高山玲子看護副部長の言葉からは、病気そのものの理解だけではなく、精神科看護の奥深さと実習の意義を教示していただいた。

最後に、「まずは看護師国家試験合格を目指し、自信を持ってがんばってほしいと思います。そして、患者に寄り添いながら、その人らしさを大切に、いろいろなことに気付ける視野の広い看護師になってほしいと願っています」と、お二人から期待を込めた温かいエールの言葉をいただいた。

想いを汲み取れる 看護師へ



中村千恵子 さん
(宮城県・40代・病院勤務)

宮城県立精神医療センターでは、精神看護学の見学実習をさせていただきました。精神科勤務の経験がなく、疾患に対する知識も浅い私は、精神科病院での実習に対して「怖さ」を感じていました。患者さんとどのようにコミュニケーションを取れば良いのだろう…、自分の言動が患者さんにどんな影響を与えてしまうのか…不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、いざ実習施設へ足を踏み入れると、患者さんの方から近づいてきてくださり、実習前に抱いていたイメージとの違いに驚きました。精神科の患者さんは、とてもフレンドリーな方もいれば、症状が安定せずコミュニケーションを取るのが難しい方などさまざまです。その一人ひとりに寄り添い、個別性を重視した看護を提供している実習指導者の姿からは、多くの学びを得ることができました。体温や血圧などとは違い、数値では表すことのできないその人の表情や行動の少しの違いから状態を把握し、言葉に表せない想いを汲み取ることがとても重要であること。これは精神科に限らず、どの診療科においても大切なことなのかもしれません。看護を提供する者として、この気づきを大切に患者さんと向き合っていきたいと思います。

また、実習中は指導者の方が常に学生に寄り添い、私たちがしっかりと考えながら実習ができるように導いてくださいました。指導者の方からの問いかけに対し、自身で考え勉強しながら2日間を過ごすことで、より理解が深まったように感じます。そして、私もいつか指導する立場になったときには、ここで出会った指導者のように、学習意欲を引き出し、看護の本質を伝えられる指導者になりたいと思っています。



高山 玲子
看護副部長

齋藤 弘子
看護部長

地方独立行政法人 宮城県立病院機構 宮城県立精神医療センター

宮城県名取市手倉田字山無番地



昭和32年に「県立名取病院」として開設。平成15年から宮城県精神科救急システムの基幹病院として、県内唯一の精神科救急情報センターを院内に設置。近年では、急性期の集中的な治療を行う精神科救急入院科(スーパー救急)の適用病棟を2病棟化し、救急医療体制の強化を図っている。また、児童精神科、訪問看護ステーションの開設など、社会のニーズに応じたチーム医療を推進し、救急・急性期・慢性期の患者支援に取り組んでいる。

学校からの お知らせ掲示板

●「紙上事例演習学習会」のお知らせ

本校では、専任教員による学習会を年間を通して開催しています。3月は紙上事例演習が円滑に進められるよう「紙上事例演習学習会」を開催しますので、是非、この機会を有効に活用してください。

【紙上事例演習学習会】

開催日時	時間	領域	担当教員
3月4日(日)	10:30~12:00	成人看護学	青砥
	12:45~14:15	老年看護学	菅原
	14:30~16:00	小児看護学	佐々木
3月5日(月)	10:30~12:00	在宅看護論	月原
	12:45~14:15	母性看護学	中里
	14:30~16:00	看護の統合	青砥・山田

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス 2階「未来の杜」

●放送大学のwebシステムを活用しましょう

看護師国家試験学習支援ツール

放送大学の教材「看護師国家試験学習支援ツール」は、インターネット公開されており、次のようなことが可能です。

- * 看護師国家試験の過去問題を解く(採点、解説の表示)
- * 発展学習でさらに知識を深める
- * 看護師国家試験受験対策(動画によるミニレクチャー)

さらに放送大学に在籍中の場合

- * 学習結果を蓄積し、レーダーチャートによる苦手分野の分析が可能

放送大学に在籍していない学生は、学生用アカウントを利用しての学習が可能ですので、学校に問い合わせてください。

次のアドレスから閲覧可能です。(スマートフォン・パソコン)

◆ <https://nurse.ouj.ac.jp>

●進学希望者への紹介のお願い

卒業生や在校生の皆さまから、進学をお考えの職場の同僚や友人など身近な方に学習体験を通して学ぶ意義についてお伝えいただき、看護師への道を踏み出せるようお力添えと紹介をお願いします。

●教育・就業サポートデスク

キャリアアップのための教育や就業に関するサポートをします。本校の進学を希望する方や卒業生・在校生の就業に関する相談について、対面や電話・メールにて一人ひとりの状況を丁寧にお聞きし、対応致します。ひとりで悩まずお気軽にお問い合わせください。

【電話番号】 ◆022-292-2664

【メールアドレス】 ◆we_supportdesk@tfu-ac.net

スケジュール

schedule

1年生【学籍番号が“17”で始まる学生】

教育課程

①東京アカデミー 低学年専門基礎模試(在宅受験)

提出締切：3月16日(金)

* 専門基礎科目の問題を100問解答することで、その実力を確認します。弱点の早期発見・克服となりますので、必ず受験しましょう。

②紙上事例演習の提出

提出締切日(必着)

紙上事例	演習1	演習2	演習3
成人看護学	4月3日(火)	4月24日(火)	5月8日(火)
老年看護学			
小児看護学			
母性看護学	4月10日(火)	5月1日(火)	5月15日(火)
在宅看護論			
看護の統合			

* 提出は締切日の2週間前から受け付けています。

③平成30年 臨地実習オリエンテーション

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

日程：5月28日(月) 10:00~17:00

内容：2年次 病院等見学実習(6領域)について

④看護師国家試験対策講座(主催：本校)*参加は無料

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

日程：①4月21日(土)~23日(月)<3日間>

②5月26日(土)・27日(日)<2日間>

内容：看護師国家試験対策オリエンテーション・対策講座

その他

●卒業記念講演・卒業式

【卒業記念講演】

日程：3月14日(水) 13:00~

【卒業式】

日程：3月15日(木) 13:30~

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

* 詳細については別途ご案内をご覧ください。

●第107回 看護師国家試験 合格発表

日程：3月26日(月) 14:00

